



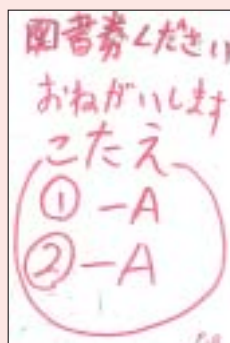
山田 彩華さん
(上区・5歳)



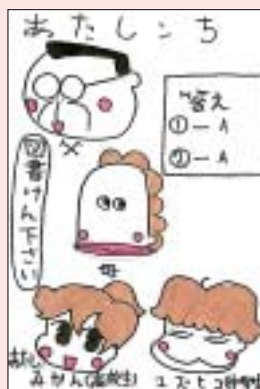
古川絵里加さん
(上区・11歳)



名前忘れないでね♥



山下 聡志くん
(堀内・13歳)



金子 瑞希さん
(黒崎・11歳)



太田 成美さん
(太田名部・9歳)

ひょうしのほつべの赤い
いちゃん。でもなんだかずき
んのおくからのぞく顔が、か
なしそう。そして、かぞく四
人が、しつかり手をにぎった
かげおくりが、とてもきにな
ってこの本を読みました。



普代小学校二年
外 館 ゆきか

ちいちゃんのすんでいる町
にひこうきからたくさんのお
くだんやしょういんだんが、
おちてきました。わたしのす
んでいる村にもよく、ひこう
きがすごいスピードで、とん

でいきます。本を読んでいる
うちに、自分のあたまの上か
ら、ばくだんがおちてきたら
どうしよう。家がやけてみん
なとはなれたらどうしよう
と、とてもいやな気持ちにな
りました。

ものことは、出てきません。
大人のことはわかりです。どう
してかとてもふしぎに思いま
した。
そして、おかあさんにきい
てみました。
「おかあさんは、せんそうを

きたそうです。するとサイレ
ンがなり、いそいで家のでん
きをけし、ぼうくうずぎんを
かぶりぼうくうごうというあ
なへいっしょうけんめいはいし
ったそうです。一日じゅうの
ときもあつたそうです。

んだね。
そして、一番つらかったの
は、はぐれたおかあさんや、
おにいちゃんをさがしていた
ときだったんだね。かげおく
りというあそびが、ちいちゃ
んのいのちまで、空にけして
しまったのはくやしかったけ
れど、みんなと空であえたこ
とは、うれしいことだったん
だね。こんどは、ぜったいみ
んなと手をはなさないでね。
さようなら。

空にのぼったちいちゃんへ

☆平成13年度 第35回夏休み良書推薦運動
岩手県小学校長会会長賞 (低学年)

(「ちいちゃんのかげおくり」)

ちいちゃんのすんでいた町
ではたくさんのおくちが
きえたんだらうと、思いまし
た。

「おはあさんが子どももの
と、せんそうでばくだんは、
いちどもおちなかつたけれ
ど、ひこうきは、よくとんで

ちいちゃんがひとりではし
っているとき、どうしてみ
ながいことはたすけてくれる
のに、だいじょうぶだね。と
行ってしまおうだらう。

「それは、天ごくとおりみ
ちだと思おうよ」と言ってい
ました。

この本を読んでからわたし
は、テレビに出てくるせんそ
うと言うことばを、とても気
にするようになりました。で
も、ちいちゃんみたいにな子ど

しっているの」するとおかあ
さんは、「まだ生まれていな
かつたけれど、おかあさんの
おかあさんから聞いたことが
あるよ」といっていました。

わたしは心の中で、こんな
ことを考えました。ちいちゃ
んは、くらいぼうくうごうの
中で、何日も一人きりだった

わたしは、とてもあんしん
しました。Ⅱ原文のままⅡ
(外館ゆきかさんは現在小学
三年に進級しています。)